

# 令和4年度 事業報告書



令和5年3月31日  
社会福祉法人 唐池学園

## 目 次

社会福祉法人 唐池学園	．．．．．	P 1
児童養護施設 唐池学園	．．．．．	P 7
児童養護施設 強羅暁の星園	．．．．．	P 13
乳児院 ドルカスベビーホーム	．．．．．	P 17
保育所 吉岡保育園	．．．．．	P 23
保育所 つぼみ保育園	．．．．．	P 27
障害者支援施設 貴志園	．．．．．	P 31

令和4年度 社会福祉法人唐池学園 事業報告書

○ 全体の総括

令和4年度に強化する取り組みとして位置付けた7つの項目のうちの5つについて、一定の成果（評価「3」以上）を得た。達成度の低い項目は、令和5年度に内容を含めて検討する。

詳細は、以下のとおりである。

No.	項目	進捗状況	達成度	備考
1	法人の課題整理と中長期計画の素案検討	唐池学園と強羅暁の星園の整備（園舎建替え） スケジュールの整理	2	法人全体の中長期計画は未着手（R5年度全体整理予定）
2	予算及び決算の精度の向上 【会計研修、ヒアリングの強化】	会計研修未実施 予算ヒアリングを実施	3	予算ヒアリング実施の効果あり
3	会報「雑品倉庫」の普及促進 【PR方法等の検討】	平成30年度の再刊後、5年間継続発行。毎年改善を重ね、紙面の充実が図られている。	4	2,500部（R4.7発行） 寄附金・件数の増
4	法人全体のコンプライアンス意識の向上【法務・労務、他】	未着手	1	実施できず
5	「法人研修計画」の遂行とモニタリング【PDCAの強化】	新任職員研修 1回 中堅職員研修 1回 法務(情報保護)2回 会計 0回 労務 0回 その他 1回	4	4月の新任職員研修と中堅職員研修を実施。 個人情報等漏えい防止に係る研修を実施し対策を講じた。
6	メンタルヘルスマネジメントの促進【産業医の活用、課題整理、研修、他】	産業医による毎月の面談及び相談を実施。一定の効果が見られている。	4	R5年度以降、法人全体の課題整理を行う。
7	地域における公益的な取り組み「吉岡買物支援プロジェクト」協力の継続	車輛及び人員の貸出し	5	法人の知名度の向上

※ 今回の報告から「達成度」を5段階で表記（5を最高位として自己評価）

【その他特記事項】

- ・唐池学園の施設整備（園舎建替え）に対する協力（2/15, 3/8, 3/29）
- ・強羅暁の星園の施設整備（園舎建替え）に対する協力（11/25, 12/13(横浜：県ヒアリングに随行), 1/17, 2/15, 3/7）
- ・函嶺白百合学園との土地協議（訪問日：9/2, 3/7）
- ・つぼみ保育園の課題解決に対する協力（12/7, 1/16, 1/30, 2/9, 3/15, 3/17）

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取組みの結果

(1) 新任職員研修

4月1日の辞令交付式をレンブラントホテル海老名で開催。

同会場で新任職員研修を実施した。研修後の予定した交流会は新型コロナウイルスの影響で開催を見送ったが、格式ある会場で研修を行うことができた。

(2) 中堅職員研修

4月25日(月)～26日(火)に箱根湯本のホテル河鹿荘を主会場に、法人として初めての宿泊による中堅職員研修を実施した。

(3) 新任職員フォローアップ研修

11月に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催を見送った。

(4) その他

開催を検討していた法務（コンプライアンス意識の向上）、会計、労務（ハラスメント防止）等については、新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、令和4年度の開催を見送った。

法務において、昨今のランサムウェア被害による個人情報等の漏えい防止のため、対策機器を取り扱う業者（2社）による研修を開催し、併せて機器のプレゼンテーションを実施した。この効果により、各施設においてUTM設置等の対策が進んだ。

その他、各施設の事務合理化を進めるため、国税等ダイレクト納付の講習会（デモンストレーション）を実施した。

2 研修実績報告

(1) 法人主催

実施月日	名称等	内容等
4月1日	R4年度新任職員研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉人としての基本的な心得（理事長）</li> <li>・人権擁護と虐待の防止（田中理事）</li> <li>・宣誓（新任職員）</li> <li>・R4新任職員（13名）</li> </ul>
4月25日 -26日	中堅職員宿泊研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中堅職員としての心構え（理事長）</li> <li>・虐待防止体制づくりの必要性（田中理事）</li> <li>・貴志園における組織体制（富岡理事）</li> <li>・問題解決とロジカルシンキング（BOSC佐藤氏）</li> <li>・H24・25年度採用職員（7名）</li> </ul>
10月21日	国税・地方税ダイレクト納付講習会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイレクト納付にあたっての登録方法</li> <li>・ダイレクト納付デモンストレーション</li> <li>・各施設の会計担当者（9名）</li> </ul>
12月14日 12月22日	個人情報等漏えい防止研修（ZOOM）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改正個人情報保護法の内容</li> <li>・情報漏えい被害（ランサムウェア被害等）の現状</li> <li>・日常における情報漏えいの注意点（VPN回線、インターネット検索、メール、Wi-Fi、USBなど）</li> <li>・各施設の現状の確認</li> <li>・現状で求められる対策（機器の設置等）の紹介</li> </ul> <p>※既に対策済みの貴志園以外の全施設参加</p>

(2) 研修参加報告 (勝俣事務局長)

実施月日	名称等	内容等
8月18日	ドキュワークス講習(ZOOM)	「事務合理化を図るための効果的な活用法」
8月31日	福祉経営研究機構 セミナー(ZOOM)	「社会福祉法人における新制度/法対応とDX 化の波」
12月2日	会計実務研修	(一財)総合福祉研究会 社会福祉法人経営実 務検定 【経営管理(旧上級財務管理)】
12月8日 12月9日	「7つの習慣」 オンライン研修	リーダー層・管理監督者向き

○ 年間行事等報告

1 会議等

実施月日	名称等	内容等
5月10日	第三者委員会	令和3年度報告等 第三者委員(主任児童委員)2名(1名欠席)
5月18日	監事監査(業務)	柏倉監事(ZOOM)
5月23日	監事監査(会計)	長井監事(久良岐乳児院を訪問)
5月27日	理事会(R4-第1回)	1 決議事項 ①R3-事業報告及び計算書類等の承認の件 ②就業規則の変更の件(保育所、貴志園) ③貴志園の運営規程の変更の件 ④定時評議員会の招集の件 2 報告事項 ア) 理事長の職務の執行状況 イ) 産業医の業務範囲の拡大 ウ) 法人本部事務所へのコピー機の設置 エ) 強羅暁の星園からの報告事項 ①給食業務委託契約(入札) ②大規模修繕の執行
6月18日	定時評議員会	1 報告事項 R3-事業報告の件 2 決議事項 R3 計算書類・財産目録承認の件
9月30日	理事会(R4-第2回)	1 決議事項 ①強羅暁の星園の給食業務委託の入札の件 ②就業規則の変更の件 ③R4-①収支補正予算の承認の件 ④書籍「むぎめし学園」再刊の件 2 報告事項 ア) 強羅暁の星園の土地協議の進捗状況 イ) イボイス制度「適格請求書発行事業者の登録申請

実施月日	名称等	内 容 等
11月14日	理事会 (R4-第3回)	1 決議事項 ①強羅暁の星園 給食業務委託契約締結の件 ②R4-②収支補正予算の承認の件 ③施設整備方針の件(唐池学園・強羅暁の星園)、 ④各施設の諸規程の変更の件 ⑤グループホーム建築の件(貴志園) ⑥障がい児相談支援事業指定申請の件(同上) ⑦つぼみ保育園の運営改善園の件 2 報告事項 ア)理事長の職務執行状況報告 イ)土地協議の進捗状況及びコンサルティングの状況(強羅暁の星園) ウ)書籍「むぎめし学園」著作権に係る調査結果と見解 エ)吉岡地区周辺の下水道整備予定等
12月16日	内部監査	さくら保育園(静岡県裾野市)における児童虐待による職員逮捕報道を受けての状況調査 ・対象:吉岡保育園、つぼみ保育園 ・担当:法人本部 勝俣事務局長 ・内容:保育所・認定こども園等における「人権擁護のためのセルフチェックリスト」の実施状況の確認と指導 ※R5.3.24 具体的実施事項について協議 ➡R5年度から両園統一方式で定期実施
1月17日	法人運営会議 ※特記	1 懲戒委員会開催に係る審議(唐池学園) 2 強羅暁の星園の土地協議の方針見直し 3 情報セキュリティ(個人情報等漏えい防止)対策 4 保育所における不適切な保育への対応等
1月18日	理事会 (R4-第4回) 【決議の省略】	1 貴志園第二めぐじりホーム施設整備計画(案)の承認の件 2 評議員会の招集事項(決議の省略)
1月31日	評議員会(R4-第2回) 【決議の省略】	1 貴志園第二めぐじりホーム施設整備計画(案)の承認の件
3月10日	理事会 (R4-第5回)	1 報告事項 ア)唐池学園の懲戒委員会の結果 イ)施設整備の進捗状況 ①唐池学園の園舎建替え ②強羅暁の星園の園舎建替え、土地協議状況 ③貴志園の第2めぐじりホーム新築 2 決議事項 ①R4-③収支補正予算案の承認の件 ②R5 事業計画案の承認の件 ③R5 収支予算案の承認の件

実施月日	名称等	内 容 等
		④法人の重要な職員の選任の件 ⑤つぼみ保育園の建物（基本財産以外）の取壊しの承認の件 ⑥各施設の就業規則の変更の件 ⑦貴志園の指定障害児相談支援事業運営規程の制定の件 ⑧貴志園の管理者の変更の件 ⑨貴志園の人権擁護委員会設置規程の改正（全部改正）の件 ⑩役員賠償責任保険契約の締結の件 ⑪つぼみ保育園の園規則変更の件 ⑫つぼみ保育園の課題改善の件

## 2 指導監査

実施月日	施設名称等	内 容 等
10月13日 ※監査結果通知日 R5.3.31	唐池学園	現地での口頭指摘1件（改善済）
	ドルカスベビーホーム	現地での口頭指摘2件（改善済）
11月16日 ※監査結果通知日 R5.3.20	カビーナ貴志園	<u>文書指摘1件（県に改善報告）</u> 現地での口頭指摘1件（改善済）
	<b>【実地指導】</b> ・カビーナ貴志園 （施設入所支援、短期入所、生活介護） ・第二椿地蔵ホーム ・放課後等デイサービスにじいる	<u>文書指摘6件（県に改善報告）</u> 現地での口頭指摘5件（改善済）

## 3 委員会

実施月日	名称等	内 容 等
2月2日	懲戒委員会	①児)唐池学園の児童指導員の懲戒処分 ②施設長の管理責任について ※2月3日 委員長から理事長に答申
2月10日	広報・研修委員会 (ZOOM開催)	①会報「雑品倉庫」の構成等 ②R5 法人研修計画

#### 4 その他

実施月日	名称等	内 容 等
4月1日	辞令交付	新任職員13名、その他3名 ※レンブラントホテル海老名で開催
12月22日	第三者委員委嘱式	主任児童委員の任期満了に伴う交代 《委員》 R4.12.1～R7.11.30 宇野 けい子 主任児童委員 原田 貴子 主任児童委員 矢部 美奈子 主任児童委員
通年(随時)	法人運営会議	実施月：5/2、5/13、7/26(文書)、1/17、 ※理事打合せ：11/8、2/9
通年(随時)	事務担当者会議	※コロナ禍のため例月の開催を見直し、通常 の事務連絡や情報交換等をチャットワーク へ移行

○ 全体の総括

令和4年度は、話し合いと調整に1年以上が掛かったが本園の居室を6部屋から1部屋減による子どもと職員の移動という久しぶりの体制の変更と、本園の改築決定に向けての取り組みが主となった。また記録システム導入により、業務簡略化と情報の共有化を進めた。

その一方、被措置児童虐待という問題を起こしたことは、子どもや保護者の信頼を損なうと共に、職員にとっても大きな打撃となった。前回の再発防止策の実施が停止状態の中での発生であり、継続的な再発防止の取り組みと実践を確認したが、職員の欠員状態は変わらずあるため、職員確保と働き方の改善も大きな課題である。

高校生で久しぶりに退学者があり、3名という多さであった。1名は他の学校に転入という形で高校生活を継続したが、2名は就労方向で進めている。子どもそれぞれに課題を持っているが、長いコロナ禍での生活の影響もあるだろう。

○ 取り組みの結果

1 子どもへの支援

- (1) 被措置児童虐待の発生、また暴言威圧が習慣化している子どもがおり、平穏な生活が難しい部屋があった。状況により一時保護も利用しながら修正を図ってきた。  
長年懸案だった各個室のクーラー設置は大規模工事により実現できた。
- (2) 生活の中で性を意識できるよう、入浴や洗濯などの場面で伝えたり、実演したりしてきた。
- (3) 生い立ちの整理は積極的に実施できた子どもがある一方、取り組めないままのケースもあった。
- (4) 社会的養護自立支援事業は2名対象、うち1名は大学卒業し就職という形で終了。
- (5) 自立支援計画に向けた子どもの聞き取りは全員実施、定着した。
- (6) 記録システムとして「すこやか日誌」を導入、少しずつ利用範囲を拡大中である。

2 親・家族との関わり

- (1) 交流時や学校行事の連絡のほかコロナ感染の連絡も多く、こまめな連絡を行った。
- (2) 家庭への引き取りが4名あり。可能なケースは家族との関係を確認しながら家族再統合へと進めることができたが、児相との連携不足で不安なケースもあった。
- (3) 自立支援計画の話し合いや定期カンファレンスへの保護者参加ができるケースは継続できている。

3 地域や他機関等への支援及び連携

- (1) 子育て支援の社会資源としての役割
  - ・里親担当職員が2名となり、里親支援の活動は大幅に増加した。
  - ・綾瀬市と話し合いを実施し、今後の地域支援に関する連携への繋がりが持てた。
- (2) 関係機関との連携、協力
  - ・児相の福祉司交代により保護者との関係づくりが難しい場合や、ケースワークが不安なケースが見られ、児相との情報共有や連携には十分留意していきたい。
  - ・小中学校と久しぶりに連絡会を持てたが、施設を知らない教員も多く、交流の機会を積極的に持ち、理解につなげる必要性を感じている。

#### 4 職員の資質の向上

- (1) 園内研修や施設見学の報告などにより、建て替えへの意思統一と意識向上を図った。「子どもの権利」に関する研修や振り返りは継続できず、被措置児童虐待発生後、グループに分かれての話し合いと養育スキル研修を受講した。
- (2) 体制変更の話し合いや移動の意思確認は丁寧に行ったが、結果1年以上を要した。職員全体の話し合いによる決定の難しさと職員体制の課題も見え、今後議論を重ね、職員の意見を尊重しつつ良い方向へと変えていきたい。

#### ○ 職員構成

令和5年3月31日現在

	施設長	FSW	里親支援 専門相談員	自立支援 担当職員	保育士 指導員	心理士	事務	栄養士	調理員	合計
常勤	1	1	1	1	26	1	1	2		34
非常勤				2	8	2	1		3	16

#### ○ 定員等

令和5年3月31日現在

区分	本園	GHよんの家	GHなの家	合計	社会的養護自 立支援事業
定員	40	6	6	52	
現員	31	5	5	41	2

#### ○ 人材育成

##### 1 人材育成にあたっての取組みの結果

##### (1) 新任職員の育成

- ・コロナ感染などで、新任を含め、若手職員の研修や交流の時間が確保できなかった。若手の会は1回開催できたが、その後は実施できず。
- ・育成については各部屋に任せる結果となってしまう、ずれや差も考えられるのでミニ研修会などやフリーとの面談の機会を持つ必要があった。

##### (2) 職員全体の質の向上

- ・被措置児童虐待を起こしてしまったことは、関わり方に疑問を感じつつも動き出すのが遅れてしまったことも大きな要因であった。
- ・ズームを利用することで研修参加は多くできた。
- ・GHでは2年目職員が体調不良のため途中退職となった。原因として職員間の意思疎通の問題もあり、GHでの新任職員育成の難しさと閉鎖的に陥りやすいという課題への対策ができないままであった。

##### (3) 建て替えに向けた取組み

- ・全体研修を2回実施し、建て替えへの意欲をあげていった。また、施設見学が実施でき、参考になる説明も聞いたことで具体的な考えにつながった。
- ・調査、企画を担う設計士をむかえ、建て替えに向けて動き出した。その都度、進行状況を報告し、周知を行ってきた。

## 2 研修実績報告

### (1) 施設内研修

実施月日	実施内容	受講職員
4/2・3	新任職員オリエンテーション	徳本、川本
4/13	記録システム講習会 講師 福味商事	全職員
9/8	中高生インターネットネット研修	中高生・ケース職員等
9/7	「人材確保と育成」(Zoom) 講師 チャイボラスタッフ	全職員
11/1	「現代のニーズに応えた施設づくりを」 (Zoom) 講師 愛恵会乳児院 黒田施設長	全職員
11/22	「里親制度について」講師 里親担当職員	ケース職員
12/14	「子どもの理解」講師 園内心理士	ケース職員
1/25	「社会的養護の背景と子供の家の取り組み」 (Zoom) 講師 児童養護施設子供の家 早川施設長	全職員
5/26・27	マリア園・聖ヨゼフ寮見学	安部、佐藤航
6/3	房総双葉学園見学	安部他、
9/26	一宮学園見学	門馬他 3 名
11/24～25	西本願寺常照園・こぶしが丘学園見学	安部、田中、宮内
1/23	エリザベスサンダースホーム見学	田中他 3 名
2/7	一宮学園見学	松尾他 3 名

### (2) 施設外研修

実施月日	実施内容	受講職員
4/1 4/25～26	法人主催 「新任職員研修」 「中堅職員研修」	川本・徳本(鶴飼、加園) 森(鶴飼・加園)
9/16 10/21・11/21 2/2	中央児相「子ども意見表明支援事業研修」 中央児相「中堅職員研修」(Zoom) 中央児相 養育スキル研修	鶴飼、加園 葛屋 全職員
2/3・17	「体罰未然防止と子どもの権利」(Zoom) 県子ども家庭課主催「基幹的職員研修」	佐藤航、葛屋
11/10～11	全養協「全国施設長研修会 大分大会」	鶴飼
5/16	(神奈川県児童福祉施設職員研究会主催) 「アタッチメント」(Zoom)	堀口、徳本
6/26 12/7 2/17	(養護問題研究会) 全国大会〈Zoom〉 神奈川支部研修会(対面・Zoom) 東日本研修	安部 安部、堀口 松尾、安部、堀口
8/24 6/18・11/5・1/28	児相主催「里親講座」 家庭養育支援センター・ひこばえ共催 里親研修会①②③(Zoom・対面)	鶴飼、加園、川本 加園、川本
9/9 10/8～9 2/7～9	あすなろ SS・ひこばえ共催「里子の自立」 関東甲信越静協議会・全国里親会研修会 フォスタリングチェンジプログラム研修会	加園、川本、葛屋 鶴飼、加園、川本 川本

実施月日	実施内容	受講職員
6/20	綾瀬市安全運転管理者講習会	小堀
5/19・26 11/16	(NPO 法人チャイボラ主催) (Zoom) 「虐待・愛着障害・その対応について」 「福祉職のためのマインドフルネス」	徳本 黒川
7/16・9/23	「ホワイトボード会議セミナー」(Zoom)	松尾
9/10	SBI 児童養護施設職員リーダー研修(Zoom)	今井
10/15	県立こども医療センター 「児童思春期精神科セミナー」(Zoom)	松尾、原瀬、葛屋 亀田
10/26	「発達障害児の偏食の特性と支援」(Zoom)	松尾
10/19・11/2	大和市教職員自主勉強会	葛屋
11/26	フェアスタート主催学習会	原瀬

○ 年間行事報告

月	行事内容	
	施設内	施設外
4	2・3日 新任職員オリエンテーション 3～4日 よんの家レク 5日 中1入学式 始業式 6日 小1入学式 入学進級を祝う会 27日 児童自治会 (Zoom)	
5	5日 (子どもの日) 青空フェスティバル 11日 新任職員歓迎会	
6	厨房害虫駆除 職員健康診断	4日 小学校美化作業 9日 中学校との連絡会 19日 県子どもの意見表明権事業(面接)
7	6日 予算会議 21日～小中高夏休み 23日～幼稚園夏休み *児童健康診断 (～8月)	25日 小学校との連絡会
8	10日 中学生レク (トランポリン) 13日 バーベキュー 28日 夜間避難訓練	5日 県子どもの意見表明権事業(総括) 25日 綾瀬市主任児童委員来園 本厚木南口飲食店食事招待 (各部屋)
9	1日 始業式 炊き出し訓練	8日 綾南地区民生委員見学
10	30日 園内レク (ハロウィンイブ)	9日 吉岡地区レクリエーション大会
11	2日 園内研修会 25日 中高生ボーリング大会 24～26日 小1～4年 CAP 研修 5・19日 インフルエンザ予防接種	5日 吉岡地区ハロウィンパーティー

月	行 事 内 容	
	施設内	施設外
12	22日 小5, 6年CAP研修 10・17日 大掃除 24日 クリスマス会 (各部屋) ～冬休み 28日 もちつき	3日 子ども会クリスマス会
1	1日 元旦祝賀会 (各部屋)	
2	2日 園内研修会 3日 節分豆まき 23日 1号室移動 *中3入試	
3	8日 中3卒業式 11日 2号室レク 12日 8号室レク 17日 幼稚園卒園式 20日 小6卒業式 22日 卒業生を祝う会 (Zoom) 24日 小中学校修了式 25日～ 春休み 28日 消火訓練 (綾瀬市消防本部来園) 29日 8号室移動 (新1号室) なのの家レク 29～30日 よんの家レク 30日 6号室レク	11日 子ども会お別れ会



令和4年度 児童養護施設 強羅暁の星園 事業報告書

○全体の総括

新型コロナウイルスの猛威に見舞われ、多くの児童と職員が窮屈な生活を強いられた1年となった。そんな中でも職員と児童が一丸となり、重症化を防いでくれたのは大きな成果だったと言える。また令和10年度に新園舎竣工という明確な目標を立て、現状の課題改善に向け新しいシステムや組織体制、経営スタイルを構築するための取り組みを多く実施した。急激な環境の変化を現場に求め、多少の混乱が生じてしまった点は反省し、今後は今年度の取り組みを少しずつ見直し、実状に即した内容に改善を図っていきたい。

○取り組みの結果

①施設整備（例：老朽化し、安全衛生を害する恐れが生じている施設の環境改善）

7月から鈴木工芸全面協力のもと、園内の大規模修繕を行った。途中コロナのクラスター等が発生し、工事が中断することもあったが年度内に全て完了して頂き、建築コンサルタントからも「適切な工事」と評価を頂いている。

②収益構造の見直し（例：加算事業の一部開始と建て替えに向けた計画の立案）

当初計画していた旧園長宅の小規模グループケア化は、今後の建替えにむけた概算を算出するなかで利益率が低いことが分かり、取りやめることとした。ウクライナ情勢の物価高騰に伴い、施設整備には以前より多額の費用がかかることが想定されている。

③職員の離職率改善（例：業務効率化を目的としたデジタル化の推進等）

業務効率化を目的として Kintone（日誌、会議録、経費精算等）、SmartBoarding（オンデマンド一般研修）、King of times（勤怠管理）のデジタル化と勤務時間の見直し等、働き方改革を実施した。今後は取り組みの見直しを行っていく予定。

○職員構成

令和5年3月31日現在

職種	園長	統括主任	事務員	指導員 保育士	支援員	家庭支援 専門相談 員	里親支援 専門相談 員
常勤	1	0	1	15	1	2	1
非常勤	0	0	1	1	3	0	0
職種	自立支援 担当職員	個別対応 職員	看護師	心理士	嘱託医	合計	総数
常勤	1	1	1	0	0	24	30
非常勤	0	0	0	0	1	6	

○定員等

定員50名（神奈川県47名 相模原市3名）現員46名

令和5年3月1日現在

	年少	年中	年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	専門	計
男子	2	1	1	1	1	2	2	1	0	0	1	2	3	2	2	1	22名
女子	1	1	2	2	2	1	3	1	1	2	2	2	2	(1)	1	0	24名(1)
計	3	2	3	3	3	3	5	2	1	2	3	4	5	3	3	1	46名(1)

※（ ）は措置停止中

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取組みの結果

①持続性の低い業務の在り方の見直し（超過勤務の見直し、業務のデジタル化等）

休憩時間 100%確保・事務作業を業務時間内 100%確保・1つの会議 30分以内を目標に掲げ、働き改革を実施。児童の安心&安全の生活を維持しながら、時間を捻出することに重きを置いてリーダー職員が中心となり取り組んだ。今後は捻出できた時間をどう児童処遇の向上、職員の働きやすさに繋げるか検討を続けていく。

②人事評価制度を導入し、職員自身がキャリアプランを描けるよう試みる

育成と評価を適切に行える組織作りを目指し、人事評価システム導入に向けた現状の課題と今後の目標を1年間かけて修正を行った。今後は目標に向けた評価項目を作成し、令和5年度中の試験運用を目指していく。

③従来の専門職に特化した内容の研修の在り方を見直し、社会人としてスキルアップが可能な、多種多様な研修を取り入れる

専門職研修とは別に一般スキル取得を目的としたオンデマンドツール **SmartBoarding** を導入。リーダー中心に「7つの習慣」研修を受講し自己啓発を試みたり、内定者向けの専用プログラムを作成し、入職前に社会人としての心得や施設の歴史への理解を深めた。

2 研修実績報告

(1) 施設内研修

実施月日	実施内容	受講職員
6月15日	中堅研修「子どもを知る(発達障害と思春期)」	9名
11月16日	新任研修「子ども達への不適切な関わり方の再発防止に向けて」	6名
1月18日	中堅職員研修「アサーション」	10名

(2) 施設外研修

実施月日	実施内容	受講職員
4月1日	(福)唐池学園主催「新任職員研修(人権擁護と虐待の防止)」	5名
4月22日	NPO法人チャイボラ主催 「フォスタリング機関と里親制度について」	1名
4月25日 ～26日	(福)唐池学園主催「中堅職員宿泊研修」 (人権擁護と虐待防止・問題解決とロジカルシンキングなど)	4名
5月14日	NPO法人チャイボラ主催「心と身体を守るための性教育」	3名
5月16日	神児研主催「アタッチメント研修」	4名
5月19日	NPO法人チャイボラ主催 「新任職員向け研修会(虐待と愛着障害)」	3名
5月26日	NPO法人チャイボラ主催 「新任職員向け研修会(障害とその対応について)」	2名
6月27日	神児研主催「新任研修」	5名
7月4日	児童福祉施設協議会主催 「成人年齢引き下げに伴う児童福祉施設での対応について」	1名
9月16日	県中央児童相談所主催 「子どもの意見表明支援事業普及啓発研修」	2名
9月22日	小田原児童相談所主催「児童虐待問題研修会」	6名

実施月日	実施内容	受講職員
10月7日	県中央児童相談所主催「児童福祉施設職員研修(人権研修)」	2名
10月15日	県立こども医療センター主催 「児童思春期精神科外来初診までの支援」	1名
11月9日	県中央児童相談所主催「児童福祉施設職員研修(人権研修)」	2名
11月14日	小田原児童相談所・西湘地区主催「児童相談所業務」	1名
11月21日	神児研主催「人材育成(これからの社会的養護を考える)」	1名
12月8・9日	FCEトレーニングカンパニー主催「7つの習慣®」	2名
12月12日	小田原児童相談所・西湘地区主催 「対応の難しい児童への実践」	3名
12月15日	神児研主催「勤続2年目の職員対象研修」	1名
12月16日	全養協主催「社会的養護を担う児童福祉施設長研修会」	1名
1月12日	神児研主催 「乳児院と児童養護施設との養育の連携について」	1名
2月6日	県中央児童相談所主催 「児童福祉施設職員研修子どもの権利(施設長向け)」	1名
2月8・9日	FCEトレーニングカンパニー主催「7つの習慣®」	2名
3月9日	神児研主催「勤続3年目の職員対象研修」	4名

○ 年間行事報告

月	行事内容	
	施設内	施設外
4		保育園入園式 小・中・高入学式
5	児童職員健康診断 施設内レク大会	
6		文体主催 卓球大会
7		中学校三者面談 終業式 夏休み
8	夏の帰省	中学校環境整備 文体主催 野球&ソフトボール大会
9		始業式
10	児童職員健康診断 園内ハロウィン	保育園運動会 小学校運動会 中学校文化活動発表会
11	お墓参り 七五三 消防署立会い訓練	中学校通学路清掃 文体主催 駅伝大会
12	園内クリスマス会 冬の帰省	小学校修学旅行 終業式 冬休み 強羅自治会地区清掃
1	どんど焼き	始業式 神児研主催 送別マラソン大会
2	節分 あすなろ作品展	文体主催 あすなろ作品展
3	ひなまつり 卒園を祝う会	中3お別れ遠足 小・中・高卒業式
その他		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種予防接種(随時)</li> <li>・ホテルインディゴ強羅のバースデイランチ(毎月)</li> <li>・避難訓練(毎月)</li> <li>・誕生日会&amp;バースデイ外出(随時)</li> </ul>		



○ 全体の総括

新型コロナウイルスの感染状況や情報を整理しながら、遠足や食育、親子交流や里親交流等で、できる事を検討し行った1年であった。

8月に施設内で2回目の新型コロナウイルスによるクラスターが発生した。今回は子どもにも感染が広がったためグループ体制などを柔軟に変更、前回の経験やマニュアルを活かして職員間で検討・情報共有しながら臨機応変に対応し1か月で終息した。

年度途中で職員2名の退職、メンタルの不調等により療養が必要な職員がいたため、事務所職員や厨房職員に勤務フォローを担ってもらった。また年度後半は例年に増して通院児が多く、情報共有や養育内容を日々工夫しながら乗り切ることができた。

里親支援専門相談員の加配については定期的に県のヒヤリングを受け、取り組みと成果について確認・検討している。

○ 取り組みの結果

1. 養育の質の向上・養育環境の整備

(1) 新型コロナウイルスの感染状況をみながら栄養士と一緒に調理する食育を再開。

一緒に買い物に行きその食材を使って調理するなど、幅を広げて月齢に合わせた食育を実施することができた。園内菜園で作った野菜をその場で調理し食べる機会を持つことで、子どもたちの野菜に対する興味、関心が向上した。

(2) 新型コロナウイルス対応の為、密を防ぐ観点から面会制限を継続中。家庭復帰予定等、状況に合わせて柔軟に対応した。制限のある面会を丁寧に対応することで親子関係、職員との関係においても信頼を築く大事な時間となっている。アフターフォローのニーズも多くなり、FSWの2名体制を活かし手厚い対応ができています。

(3) リーダー会議の内容を見直し、子どものことは各グループ会議で深めることにし、各グループの課題や養育の見直しを行い、施設としての対応を検討する場とした。

2. 職員の意思疎通を図る

(1) 日中のグループ会議を継続中。職員1人1人が発言する機会を持つため、職員会議での個人目標の発表は担当が伝えることにした。回覧板の活用が定着し、職員全体への情報の共有がスムーズに行えるようになった。

(2) 新型コロナウイルス感染拡大時の対応を活かし、胃腸炎流行時にも感染拡大防止の対応を動画配信により職員に周知。対応の統一を図った。

3. 子どもの権利擁護という視点での養育

(1) 「人権ヒヤリハット」「人権にやりホット」アンケートを継続実施。「人権ヒヤリハット」は各グループ会議で振り返りを行い、職員の意識づけを行った。

4. 職員のメンタルヘルス

- (1)臨床心理学博士テリー先生による月1回の面接を継続実施。併せて療養休暇後や持病のある職員には法人の産業医との面接を実施。施設長も面接してもらうことで、施設としての対応等の助言をもらい、個人と組織の両面からのメンタルヘルスの取り組みに繋げている。

5. 里親・里子支援

- (1)マッチングや里親委託後のフォロー等、児童相談所や家庭養育支援センターと連携して共に取り組む機会が増えた。

- (2)里親支援専門相談員の2名体制を活かし、交流中の支援の強化や状況に応じた交流方法の提案に繋げることができた。

6. 修繕及び整備内容

- (1)劣化に伴い養育室の水栓交換  
 (2)ボイラー循環ポンプ交換  
 (3)2階デッキの修復  
 (4)園庭ロンドンバスの塗り替え  
 (5)第2駐車場のフェンス工事とモルタル仕上げ

○ 職員構成

令和4年3月31日現在

	施設長	家庭支援専門 相談員	里親支援専門 相談員	心理 相談員	事務員	里親センター
常勤	1	2	2	1	1	1
非常勤						3

	看護師	保育士	児童指導員	栄養士	洗濯・掃除	嘱託医	合計
常勤	3	19 (1)	3	4 (1)	0	0	37
非常勤	2	1	1	1	4	1	13

( ) は、うち産休育休中職員

○ 定員等

定員 25名 現員は下表

令和4年3月31日現在

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児		合計
措置児	9名	5名	3名	0名		17名
一時保護児	3名	2名				5名
レスパイト						

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取組みの結果

(1) 全国乳児福祉協議会研修体系に基づいた人材育成を取り入れ、職員のレベルに合わせた研修に参加。ハイブリット形式の研修は積極的に対面での参加にした。

(2) マニュアルは随時更新し、職員会議で全職員に周知。新任職員指導や職員同士の業務の確認時に活用している。

2 研修実績報告

(1) 施設内研修

	実施日	研修名	受講職員
法人	4/1	新任職員オリエンテーション（於海老名）	友利・百瀬
	4/25 26	中堅職員研修	小林・横山さ
院内	1/30	救急法	各日程 15 名 計 30 名
	2/27		

(2) 施設外研修

	実施日	研修名	受講職員
県内乳児院	6/16	合同研修（於県社協）	春日・清水・栗原・川上
	7/29	合同研修	矢内・川上・井上
	9/12	事例勉強【竹内直樹氏】（於久良岐乳児院）	矢内・川上・百瀬
	1/26	事例勉強【竹内直樹氏】（オンライン）	矢内・佐々木・春日・百瀬
神児研	5/16	アタッチメント研修（オンライン）【青木 紀久代氏】	石橋
	6/27	新任研修	友利・百瀬
	11/21	人材育成研修	杉浦
	12/15	勤続2年目の職員対象研修	小玉・佐藤・山下・杉江
	1/12	乳児部研修	山口・橘川
	3/9	勤続3年目の職員対象研修	中野
全乳関係プロ	6/9~10	関プロ乳児院研究協議会（於山梨）	矢内・菅原
	7/25	全乳職員研修（オンライン）	矢内・山中
	10/6~7	全乳職員研修（於香川）	矢内・横山さ
	11/10~11	関プロ職員研修（於新潟）	本橋・百瀬
	2/22	上級職員セミナー	川上
	3/3	乳児院医療・看護セミナー	井上
子どもの虹	6/9	児童福祉施設指導者合同研修（オンライン）	山口
	6/29~7/1	乳児院職員指導者研修 あかし	久保田
	11/25	乳児院職員指導者研修	小林
	3/16	テーマ別研修	柏木
その他	6/22,29,7/7	子ども虐待予防研修	橘川
	7/29	救急法（綾瀬市消防本部）	友利・百瀬
	8/4	チームビルディング研修（於県社協）	山口

	実施日	研修名	受講職員
その他	10/3~11/30	小児保健研修(オンデマンド)	春日・清水・栗原
	10/7 11/9	児童福祉施設職員新任人権研修 (於 県社協)	石川
	10/21 11/21	児童福祉施設職員中堅人権研修 (於 県社協)	中川
	11/14~12/16	小児保健支援者研修～ウィズコロナの時代を生き抜く～	春日・清水・栗原
	10/28	アレルギー研修	小玉
	12/15~1/15	地域小児保健支援者研修 精神疾患のある保護者への支援(オンデマンド)	佐々木・百瀬
	1/23~24	中堅職員・チームリーダー研修会 (於 県社協)	木股
	1/30~31	FSW 研修	橋川
	2/2	児童虐待未然防止強化事業 養育スキル研修	設楽
	2/3 2/17	基幹的職員研修	春日・清水
	2/15~2/28	日常の支援に活かすアタッチメント理論(オンデマンド)	橋川・百瀬
	3/4	アレルギー研修	中野
栄養士関連	9/6	栄養士会 第1回研修 県社協 (オンライン)	横山さ・本橋
	11/11 2/3 1/13 2/8 2/21	子どもの食育支援研修	本橋
	2/10	栄養士会 第2回研修 県社協	本橋
	2/26	神奈川県栄養士会スキルアップセミナー 乳幼児期の食農教育の意義を考えよう	横山
里親関連	6/3	支援者向け研修 「特別養子縁組家庭のライフストーリーワーク」	杉浦・柏木
	6/23	里親担当者会研修会 「ファミリーホーム体験談」	杉浦・柏木
	9/4	CAPNA 企画 「里親支援必須スキル集中トレーニング」	柏木
	9/9	ひこばえ・あすなる共催 「里子の自立」	杉浦・柏木
	9/22	里親担当者会研修 「児相が考えるライフストーリーワーク」	杉浦・柏木
	9/30	ひこばえ研修 「多様性を認め合う支援」	杉浦・柏木
	10/15	児童思春期精神科セミナー「児童思春期精神科外来を初めて受診するまでに」～家族や支援者が子供のためにできること～	柏木
	1/20	家庭養育支援センター・里親支援専門相談員研修会 「3カラムについて」～話を聴くこと・話を理解すること～	杉浦・柏木
	1/27	里親センターひこばえ研修 「不適切療育(マルトリートメント)の理解を深める」	杉浦・柏木
3/23	里親担当者会研修 「子どもの育ちと心理的特徴」	柏木	
4/23	専門的プログラムを用いた子育て支援の実践	百瀬	

	実施日	研修名	受講職員
心理関連	5/30 6/13	社会的養護における心理支援	百瀬
	6/27	架空事例から学ぶ要保護児童の理解と援助	
	12/4	事例検討会	百瀬
	12/17	第1回 春乃会・乳幼児精神保健セミナー	百瀬
	2/25	発達障害 300 分間 Q&A オンライン	百瀬
3/25	トラウマの世代間伝達への親と子 2 世代への支援	百瀬	

○ 年間行事報告

月	行 事 内 容		
	養育	食育	地域交流
4月	お花見 遠足・誕生日会	お食い初め・パン献立 魚献立	
5月	子どもの日の会 菖蒲湯 遠足・誕生日会	子どもの日献立・魚献立 パン献立 お食い初め	
6月	遠足・誕生日会	お食い初め・バイキング デザート作り 魚献立 食育月間（魚）	
7月	七夕会 遠足 誕生日会	七夕献立・お食い初め バイキング・魚献立 土用の丑の日：ウナギ	
8月	スイカ割り 花火※コロナのため中止 遠足	お食い初め・バイキング 土用の丑の日：ウナギ 魚献立	
9月	バーベキュー 遠足・誕生日会 お月見会※コロナのため中止	バーベキュー：流しそうめん 魚献立 お食い初め	
10月	ハロウィン 運動会 遠足・誕生日会 一泊旅行	お食い初め 運動会：お弁当献立 魚献立 ハロウィンバイキング	
11月	遠足・誕生日会 秋祭り	魚献立 秋祭り：バイキング	
12月	クリスマス会 冬至（柚湯） 遠足・誕生日会	クリスマス献立・鍋献立 大晦日：年越しそうめん バイキング	
1月	元旦・初詣 遠足・誕生日会	元旦：おせち料理 七草粥・鏡開き バイキング・鍋献立	初詣

月	行 事 内 容		
	養 育	食 育	地 域 交 流
2月	遠足・誕生会 節分	節分献立 お食い初め 鍋献立	
3月	ひな祭り 遠足・誕生会 総合避難訓練（唐池と合同）	ひな祭り献立 バイキング 魚献立 お食い初め	
毎月恒例：防災訓練・身体測定・嘱託医健診			

令和4年度 吉岡保育園 事業報告書

○ 全体の総括

新型コロナウイルスの感染症による活動の自粛は、地域交流も滞り老人ホームとの交流活動や、園内開放など3年もの長きにわたり中断することとなった。

コロナ補助金を活用し、乳児の砂場の設置や、以上児の足洗い場の設置工事を行う。

0, 1歳児の紙おむつのサブスクリーションをスタートした。

登降園管理、帳票類や、保護者との連絡帳の作成、園内連絡、保護者への連絡や伝達などこどもんアプリを本格的に活用。

配慮を必要とする子どもの保護者支援や職員研修など専門の先生を招いての研修は、今年はまだ行えなかったが、子どもとの関わり方や保護者支援などを、専門書などを活用しての研修を行った。

朝夕の職員体制の厳しさについて、今年度は対応が出来たが、担当していただいている高齢の方の退職も考えられるため今後は課題となる。

○ 取り組みの結果

発達に合わせた保育環境づくりとして、研修会議の場で話し合い、玩具の整理をおこなった。発達に合わせた玩具の工夫は、職員の意識を高めるために今後も継続していく。

食育体験は、隣接した畑を活用して畑の土壌作りから作物を植え育てて収穫し、調理をして食べるという一連の体験を行えるようになった。

来年度は、食育についての研修研究を進める。

各種実技の専門講師の指導のもと子どもたちは楽しんでいる。職員もプロの指導者の方の指導法を学ぶ機会となるような意識が出てきている。職員への声掛けなど意識づけが大切と思う。

配慮の必要な子どもについての研修は、もみの木の巡回訪問により、担当職員はカンファレンスなどにより、一部の保護者と共に具体的な関り方を学ぶことが出来てはいるが、回数など制限もあったため不十分であった。

保育会研修発表についての研究や資料も整い4月の事業大会で発表し、職員はとても良い経験となり、保育に対してのモチベーションが更に上がったと感じる。職員からは次の研究を進めたいとの声が上がった。

○ 職員構成

令和 5年3月31日現在

	施設長	保育士	栄養士兼 調理員	事務員	保育補助 員
常勤	1	11	1		
非常勤		8	1	1	2

○ 定員等

令和 5年3月31日現在

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員	6	8	10	12	12	12	60
人数	10	12	14	12	11	14	73

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取組みの結果

子どもの人権やハラスメントなど年2回行っているところではあるが、不適切保育についての調査などを通し、更に具体的な関わり方の振り返りなどを行った。

保育指針の今年も新たな時代の保育実践～幼児期までに育ててほしい10の姿について、園内研修は（環境）の視点から研修を行った。毎月の園だよりに、写真など添えて配信。

障害児保育は、今年度も講師の先生のご都合がつかず持ち越しとなったが、もみの木の巡回指導は、少ないながらも行う事が出来、保護者との共通理解につながった。

保護者支援や、子どもの対応など、職員のスキルを身に付ける上でも研修など今後も検討課題である。

保育士の保育のスキルアップとしてピアノなど実技指導が、実践の場で生かされている。

研修は、リモートでの研修が多い中、年度後半に綾瀬市の対面での研修も行う事が出来た。来年度は、綾瀬市の対面での研修が復活し保育士間の交流も増えると期待している。

2 研修実績報告

(1) 施設内研修

実施時期	実施内容	対象職員
4	人権、保健衛生計画について 保育内容（乳児保育）（わらべ歌研修）（自然→飼育） 障害児保育 ヒヤリハット	常勤職員
5	救急救命について（エピペン、救命法） 保育内容（乳児保育）（わらべ歌研修）（自然→飼育） 障害児保育 ヒヤリハット	常勤職員
6	事故（プール）、けがに対する対応 保育内容（乳児保育） ヒヤリハット	常勤職員
7	研究発表(自然→泥団子) ヒヤリハット	常勤職員
8	ヒヤリハット	常勤職員
9	災害マニュアルについて(地震・火災・水害・不審者) ヒヤリハット	常勤職員
10	障害児保育(オンライン研修) ヒヤリハット	常勤職員
11	ICT業務(コドモン)の機能と使い方を学ぶ ヒヤリハット	常勤職員
12	不適切保育について(保育士による虐待事件) 障害児保育(オンライン研修) ヒヤリハット	常勤職員
1	食物アレルギーについて ベビーマッサージ 障害児保育 ヒヤリハット	常勤職員
2	不適切保育について ヒヤリハット	常勤職員
3	不適切保育について(セルフチェックの結果から学ぶ) 年間の振り返り	常勤職員

(2) 施設外研修

実施時期	実施内容	対象職員
4	なし	
5	なし	
6	救急救命研修	中台・村井
7	キャリアアップ研修(保護者支援) キャリアアップ研修(幼児教育) キャリアアップ研修(障害児保育)	中台 村井 濱田
8	キャリアアップ研修(食物アレルギー)	難波
9	キャリアアップ研修(幼児教育) キャリアアップ研修(障害児保育)	杉浦・中台・鮫島・濱田 杉浦・鮫島
10	なし	
11	コミュニケーションスタイルの理解と対応 施設見学	川上・高田・北村 杉浦・難波・吉村 難波
12	なし	
1	キャリアアップ研修(障害児保育) 食物アレルギー研修 発達障害の子どもへの理解と支援	杉浦・鮫島 北村 玉井
2	マナー講座 キャリアアップ研修	常勤職員全員 杉浦・中台・鮫島・濱田
3	なし	

○ 年間行事報告

月	行 事 内 容	
	施設内	施設外
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園進級式 ( 1 日)</li> <li>・内科検診 (19 日)・歯科検診 (21 日)</li> <li>*誕生会 (26 日)</li> <li>●お弁当の日 (28 日)</li> <li>★クラス懇談会 3 才 (22 日)・4 才 (15 日)・5 才 (8 日)</li> <li>・各種野菜の種まき等始まり</li> </ul>	
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練総合 (26 日)</li> <li>●お弁当の日 (20 日)</li> <li>*誕生会 (24 日)</li> </ul>	
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虫歯予防のはなし (2 日) 尿検査 (1 日)</li> <li>◎じゃが芋掘り (16 日) まつカレー作り (27 日)</li> <li>*誕生会 (28 日)</li> </ul>	
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プール開き (1 日)・花火教室 (1 日)</li> <li>・七夕まつり (7 日)</li> <li>・おまつり会 (15 日)</li> <li>*誕生会 (26 日)</li> </ul>	
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まつ組ワンデーキャンプ (20 日)</li> <li>*誕生会 (30 日)</li> </ul>	
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・藍染め (1 日) ]</li> <li>*誕生会 (27 日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まつ・さくら組こどもの杜 (16 日)</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内科検診 (18 日)</li> <li>*誕生会 (25 日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★わくわく広場 (22 日)</li> <li>・つぼみとの交流保育</li> <li>★うめ組 親子遠足 (20 日)</li> <li>★りんご組 親子遠足 (27 日)</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜収穫・芋掘り (16 日)・収穫祭 (17 日)</li> <li>*誕生会 (19 日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★まつ組 親子弘法山 (18 日)</li> <li>★さくら組 親子 遠足 (2 日)</li> <li>★もも組 親子遠足 (11 日)</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎発表会 (17 日)</li> <li>・クリスマス会 (23 日) *誕生会 (27 日)</li> <li>・観劇 (19 日)</li> <li>・個人懇談会まつ組</li> </ul>	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お弁当の日 (4 日)・どんど焼き (13 日)</li> <li>★個人懇談会 (除まつ)・もちつき (11 日)</li> <li>・切り干し大根作り (10 日)・味噌づくり(31 日)</li> <li>*誕生会 (24 日)</li> </ul>	
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豆まき (3 日)</li> <li>・避難訓練総合 (1 日)・お店屋さんごっこ (16 日)</li> <li>*誕生会 (28 日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マラソン大会 (17 日)</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>*ひな祭り誕生会 (3 日) 交通安全教室 (27 日)</li> <li>・お別れ会 (17 日)・お弁当の日 (10 日)</li> <li>★卒園式 (18 日) お茶会 (24 日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まつ組お別れ遠足 (10 日)</li> </ul>
<p>その他 保護者の参加 *…5 歳児のみの自由参加            ★…対象者全員参加 ◎…全員自由参加 ・…子どもの活動            &lt;毎月 1 回&gt;・身体測定 (20 日)・避難訓練・外部講師 (リトミック・体操教室・絵画教室・えいご)            &lt;10~6 月&gt; ●お弁当の日            &lt;毎週 1 回&gt;・園庭開放 &lt;年間 3 回&gt;・つぼみとの交流 (1 回)</p>		

## 令和4年度 つぼみ保育園 事業報告書

### ○ 全体の総括

- ・ 給食の業務委託が2年終了した。行事食やバイキング、日々のメニューや具材の大きさや味の濃淡など現場からの希望がある中、綾瀬市の献立表を参考にし委託先の安田物産の担当者は寄り添ってくださった。  
職員からは毎月綾瀬市と全く同じ献立表での提供を強く望む声がある。
- ・ 新卒で入職した2名、経験を積んで入職した1名、子どもたちとの関わりや先輩保育士の指導もと、それぞれ学びの多い1年間になったと思われる。
- ・ 全職員の協力と頑張りで、3歳児未満児をはじめ、受入れ園児数を増やすことができた。
- ・ 保育時間、土曜日保育、保護者のニーズに寄り添った。  
土曜に保育に関しては保育士3名で10数人の受入れをし、登園児数が年々増えてきている。発達に課題があるお子さんの関わりも職員間で助け合いそれぞれの成長に力を注いだ。
- ・ 子育てをしながら勤務している職員は、他園の様子と自園の様子を比べることができる。どの職員も保護者目線で考えてきたが、保育士数を増やし職員の協力で更にできることはあるように思われる。
- ・ 施設整備として、フェンスの修繕、園児の椅子の購入、と終了した内容もあるが、テラスの修理、3歳児以上児の下駄箱、木造舎の解体等々、まだまだ物的環境を整える課題が残った。

### ○ 取り組みの結果

- ・ 感染予防をしながら行事を行った。その都度、内容や方法を職員間で話し合い、アイデアを出し合い工夫した。
- ・ 保護者の保育士体験は行ったが、地域との交流、外部の方の受入れはまだ見送った。
- ・ 畑やプランターでの野菜や果物の栽培を行った。  
園児が職員と草刈りを行い、みかんをいつ食べるかと興味を示している姿も見られた。安田物産の方に食育の取り組みに協力いただき、クラスごとのクッキングを行った。
- ・ お茶教室の講師には3月に1度来ていただき、卒園する5歳児クラスの園児と職員数名が体験することができた。
- ・ 勤務年数の少ない職員の意見を引き出すように、それぞれの職員が工夫していた姿がみられた。

○ 職員構成

令和5年3月31日現在

	施設長	主任保育士	保育士	栄養士	調理師	看護師	事務	その他
常勤	1	1	14	0	0	0	0	1
非常勤	0	0	3	0	0	0	2	0

嘱託医 茂木医師(内科) 近藤医師(歯科)

派遣保育士 3名 安田物産 栄養士、調理師

○ 定員等

令和5年3月31日現在

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	10	20	20	20	20	20	110
入所数	11	23	22	21	24	25	126

○ 人材育成

1 人材育成にあたっての取組みの結果

(1) 会議

- ・ 以上児・未満児・給食関係（離乳食・アレルギー）会議・全体会議と行ってきた。
- ・ 理事長をはじめ法人の理事・監事の方々、事務局長、バックオフィス総研コンサルティング合同会社の方々にはたくさんのご指導ご意見をいただいた。課題はあるが、前進していきたい。

(2) 研修

- ・ 少しずつではあるが、リモートやDVDの活用も含め研修に参加をしていった園内研修は共通理解ができるように取り組んだ。
- ・ 園内研修では、派遣の方々、安田物産の方々にも参加していただいた。

2 研修実績報告

(1) 施設内研修

実施月日	実施内容	受講職員
11/15	綾瀬消防本部・心肺蘇生法（AED）	常勤・非常勤・派遣
1/23	綾瀬消防本部・消火訓練、通報訓練	常勤・非常勤・派遣・安田物産
2/9	県社協・保育の質向上とマネジメント	常勤・非常勤
3/14	交通安全教室 DVD	3歳以上児と職員
3/1	お茶教室	松・園児と担任他

2) 施設外研修

実施月日	実施内容	受講職員
4/1	法人新任職員研修	佐藤（尚） 佐藤（愛） 松尾
6/17	綾瀬市保育会・普通救命講習会	高梨
7/27	県社協・新任保育士激励会に伴うメッセージ	佐藤（尚） 佐藤（愛） 松尾
9/2	健康推進部母子保健グループ・食物アレルギー緊急対応	常勤保育士
9/22	県保育会・キャリアアップ研修乳児保育分野	佐藤（尚）
10/27	県次世代育成課・保育エキスパート食育アレルギー対応	伊津
11/9	県保育会・キャリアアップ研修保育士等の育成	佐藤（尚）
11/10	県こども医療センター・小児保健研修	猿倉
11/11～12	総合福祉研究会・全国大会	藤岡
11/16	和泉短大・保育実習指導連絡会	猿倉
12/14・22	法人個人情報漏えい防止研修	常勤・非常勤
1/12	県次世代育成課・エキスパート障害児保育	高梨
2/13・17	市保育会・保育士に求められるマナー	常勤保育士

○ 年間行事報告

月	行 事 内 容	
	施設内	施設外
4	入園,進級式・園児健康診断・子どもの日行事食	
5	3歳以上児尿検査・交通安全指導	
6	お店屋さんごっこ	
7	プール開き・花火指導	
8	すいか割り	実習生受け入れ
9	引渡訓練・プール終了・お楽しみ会・職員健康診断・園児歯科検診・防犯訓練	実習生受け入れ・3歳以上児親子遠足
10	園児健康診断・ハロウィン・職員健康診断・コロナワクチン接種・職員インフルエンザ予防接種・運動会・交通安全教室	道志会訪問・吉岡保育園5歳児クラスと交流
11	歯科検診・2歳児尿検査・5歳児クラスクッキング・園児健康診断・七五三・職員インフルエンザ予防接種	実習生受け入れ 4, 5歳児消防署見学
12	お餅つき・クリスマス会(クラスごと)・園児健康診断	発表会リハーサル、発表会(文化会館) 茂木産婦人科ご挨拶
1	郵便屋さんごっこ・どんど焼き・給食バイキング・1歳児懇談会	
2	節分・2歳児懇談会・防火煙ハウス体験・4, 5歳児クッキング・3, 4歳児懇談会	実習生受け入れ
3	5歳児お茶教室体験・ひなまつり・0歳児懇談会・3歳児クッキング・5歳児とのお別れ会・5歳児とのお茶会・卒園式	5歳児こどもの杜遠足・お別れ遠足
その他 【毎月1回】— 身体測定・避難訓練・誕生会(クラスごと) 【4月,5月、10月～3月の月1日】— お弁当の日		

## 令和4年度 貴志園 事業報告書

### 1、 全体の総括

各部署においてコロナの感染が人がり、その都度対応に追われた1年であったが、部署間で連携し、人手不足の部署には派遣するなどして対応することで、感染拡大することなく終息することができた。

コロナの影響等により、入所利用者が介護保険施設等へ移行するなど、3名の空きの状況が続いている。入所の収入減は各部署にも影響を与え、マイナスの事業については入所からの繰り入れができなくなるため、今後は各事業所において収入面を意識した運営を心掛けることが強く求められる。

一方で、コロナによるマイナス面ばかりではなく、今まで見られなかった利用者の協調性、強さなどを見ることができた。また、部署を超えて、他者を気にかけて、積極的に協力してくれるもの、能動的に業務を進めていくものなど、職員の新たな可能性にも気づけた一年であり、プラスに生じたことといえる。

### 2、 取り組みの結果

#### (1) 中期運営計画における重点課題の結果 (3か年計画の3年目)

##### ①職員育成

部門	事業	取り組み状況	達成度
生活支援部門	施設入所支援	朝の打ち合わせ、課会議の場を活用し職員間の共通理解に努めている。また、上司によるライブスーパービジョンも行いながら支援の向上に取り組んでいる。さらに『障害者支援施設等意思決定支援普及想定モデル事業』や「おともだち事業」等県の取り組みに積極的に参加し、様々な人の意見を取り入れ利用者支援に活かすことが出来た。	8
	生活介護・移行 継続B型・定着	ケース担当者が利用者一人ひとりの事業に沿った支援を進めつつ、何か有った時の初動を速やかにする事に努め、意識と体制を整えた。	7
地域生活部門	地域生活援助事業	毎日の打ち合わせや会議・策定会議等で利用者支援について職員間で意見を出し合い、より良い利用者支援に向けて取り組んだ。また各職員が自発的に取り組めるように業務的コミュニケーションを意識し、意思疎通を図りながら日々の業務に取	7

部門	事業	取り組み状況	達成度
		り組んだ事で、各々が責任を持ち業務遂行を行った。	
	相談支援事業	毎週実施の所内会議を活用し、スーパービジョンを実施、事後対応のみならず、事前対応も意識し、実施した。	8
在宅支援部門	放課後等DS	常勤保育士について保護者個別面談の同席等とおしてライブスーパービジョンを行った	6

## ②地域との連携・社会的責任の遂行

部門	事業	取り組み課題	達成度
生活支援部門	施設入所支援	コロナ禍の状況もあり地域との交流の場は設ける事が出来なかった。利用者の外出時に困難な状況に近所の方が遭遇し園に連絡を入れてくれるなど地域の方の協力など頂ける機会もあった。成年後見人については、1名選任され、利用者支援のサポーターが増えている。	7
	生活介護・就労B・移行・定着	コロナ禍の影響を受けながらも、特別支援学校と連携して進路の選択に貢献する。相談支援事業所との連携もあり、途中で新規利用者2名を確保出来た。市農業振興課と連携し、地元野菜を活用することに繋がった。	7
地域生活部門	地域生活援助事業	地域住民のひとりである事を意識し、利用者と共にゴミの分別や騒音等、地域で生活していく為に必要な事をグループワーク等を活用し話し合いを行った。また日常生活自立支援事業の利用が1名、今後の成年後見人申立に向けて2名の利用者の相談を関係機関と連絡を取り、本人を取り巻く支援環境を整えている。	7
	相談支援事業	市内のみならず、圏域内の関係機関とのネットワークを生かし、貴志園の周知や新規利用者確保に努めた。	7
在宅支援部門	放課後等DS	児童発達支援センターを事務局とした関係機関連携の機会に全回出席した 移転に伴い、関係機関による見学会を実施した	6

③ソーシャルワークと生活環境

部門	事業	取り組み課題	達成度
生活支援部門	施設入所支援	非常勤職員が増えた事により、生活援助や棟内の清掃など支援が手厚くなった。また、職員による社会体験支援や土日の外出支援を行い、コロナ禍で外出制限のある利用者の気分転換を図るようにした。	8
	生活介護・移行 継続B型・定着	感染症対策を続けつつ、クラスター防止のため一時的に閉所したのと、その後の業務継続に努める。利用者が安心して通所出来るよう尽力してきた。生産活動の体制を維持している。	8
地域生活部門	地域生活援助事業	各ホーム非常勤職員の配置を行い、またフリーの支援員を夜に配置する事で居室・共用スペースの掃除を行い、生活環境を整えた。また面談や社会体験支援(88件)を通して、利用者との関わる機会を多く設ける共に、訪問看護・訪問リハを利用する等個別のニーズに対応した支援環境を整えている。	7
	相談支援事業	非該当	
在宅支援部門	放課後等DS	事業所移転に伴い、事業所所内環境の整備に努めた 個別面談の他に必要に応じて家庭訪問等を行い丁寧なケース対応に努めた	6

④就労支援事業の拡大

部門	事業	取り組み課題	達成度
生活支援部門	生活介護・移行 継続B型・定着	下請け事業は取引先が一つ減ったが、作業種を増やした。食品部門では内需販売のほか、価格変更したグランドール事業の販路を拡大したことで売り上げが伸びた。年度後半では弁当受注もあり、一昨年の収入より上回った。	7

⑤財政基盤の強化

部門	事業	取り組み課題	達成度
生活支援部門	施設入所支援	病気により2名の利用者が亡くなり、コロナにより1名の利用者が施設移行、意思決定支援により1名の利用者がGHへの移行となった。1名新規利用者が入ったが、3名空床となってしまう財政基盤の強化にならなかった。短期入所に関しては、長期利用者が1名、定期的な利用は1名。新規利用者は2名となっているが収入としては予定より少なくなっている。	6
	生活介護・移行 継続B型・定着	生活介護、就労継続支援B型は、定員の維持は出来たが、就労移行支援は定員割れが続いた。利用率は、コロナ禍の待機休みや一時的閉所の影響、怪我による休みや入院などもあり、3つの事業で定員に対する利用率は86%。	5
地域生活部門	地域生活援助事業	高齢施設への移行、サテライト事業の利用により2名の利用者が退居、1名の利用者が入居し、以前から計画していた利用者定員を1名減らして運営を行った。また2名の利用者の長期入院により収入減となり、具体的な財政基盤の強化としては成果に乏しい1年であったが、今後に向けて障害支援区分の見直しや職員体制の検討等、具体的な実施策が見えてきた。	6
	相談支援事業	県、市からの委託収入が主であり、事業実績に見合った予算確保に努め、委託事業は概ね増収となっている。収益事業の収益確保が課題である。	7
在宅支援部門	放課後等DS	特に10月以降の3ヶ月において新型コロナウイルス感染症の影響により陽性児童だけでなく濃厚接触や自主欠席などがあり、年間利用率78%に留まった	4
総務部門	総務	財政面では、コロナ禍による利用率の低下や定員割れが原因で全事業所の資金収支差額がマイナスとなってしまった。 環境面では、車両担当者の取り組みにより、外郭団体からの助成金と自己資金で車両を購入することができた。	6

### 3、職員構成

令和5年3月31日現在

	園長	副園長	部長	課長	係長	支援員	栄養士	看護師
常勤	1	1	2	6	5	18	2	1
非常勤						41		1

	調理員	事務員	合計
常勤	1	1	38
非常勤	2	2	46

### 4、定員等

令和5年3月31日現在

名称	カビーナ		コペルタ			第二椿	宮久保	にじいろ
	施設入所支援	短期入所	生活介護	就労継続B	就労移行定着			
定員	30	4	23	11	6 ( )	15	15	10
現員	28	2	23	12	4 (5)	15	15	27
定員外			1					17
合計	28	2	23+1	12	4 (5)	15	15	10+17

### 5、人材育成

#### (1) 研修実績報告

貴志園では、下図のとおり、施設（法人）で企画運営し実施している研修と外部機関等が実施している研修に派遣する形で研修機会の確保を行っている。

施設内研修については、研修委員会が企画運営を行うもの、部署単位で実施するものと多様性を確保し、知識技術の向上だけでなく部署横断的な人材交流促進も図っている。

施設外研修については「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」で定められた法定研修と貴志園のキャリアパス制度に基づく階層別研修を実施している。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、増加したリモート形式での研修への参加などの環境変化に対応しつつ、学習機会の確保に努めた。

## (2) 内部研修

研修日	研修内容	受講職員
6月6日	新任職員研修	新任職員
個別動画視聴及び6月18日 (対面) 10月15日、2月18日	全体研修	全職員対象
9月30日、2月13日、3月20日	接遇研修	採用2年目までの常勤職員
各第三土曜日	ケース検討会	全職員対象
その他	非常勤研修・期間 職研修	各部署単位×2回

## (3) 外部研修

研修日	研修内容	人数
6月8日	指定障害福祉サービス等事業者等指導講習会	1
6月16日	サービス管理責任者更新研修	1
6月21日、22日 8月23日、24日 9月5日、6日	相談支援従事者初任者養成研修	1
6月24日	安全運転管理沙法定講習	1
7月7日	サービス管理責任者更新研修	1
9月20日	県意思決定支援ガイドライン研修	1
9月28日	サービス管理責任者更新研修	1
9月30～10月14日、24日 11月28日、12月19日	相談支援従事者現任研修	1
合計		8人

## 6、年間行事報告

月	行事内容	
	施設内	施設外
4	花見 自治会(中止)	
5		
6	自治会(中止)	フェスタ(中止)

月	行 事 内 容	
	施設内	施設外
7	大掃除（入所） 心肺蘇生法・災害備品組み立て（中止）	グループレク：カラオケ（7/10）
8	自治会（中止）	グループ旅行：三浦（8/5-6） グループ旅行：三浦（8/12-13）
9	総合防災訓練（延期） 健康診断（9/22） しらさぎ祭（9/23） 害虫駆除（9/21）	
10	自治会（中止） 総合防災訓練（10/19）	グループ旅行：三浦（10/1-2） グループ旅行：三浦（10/16-17） グループ旅行：三浦（10/22-23） グループ旅行：三浦（10/30-31） グループレク：宮ヶ瀬（10/9）
11	インフルエンザ予防接種（11/18） 心肺蘇生法（中止）	グループ旅行：三浦（11/11-12） グループレク：宮ヶ瀬（11/12）
12	餅つき（中止） 自治会（中止） 大掃除（入所） クリスマス会（12/23） 忘年会（12/28）	グループレク：宮ヶ瀬（12/25）
1	災害備品組み立て（中止）	
2	節分／自治会（中止）	グループ旅行：三浦（2/20-21） グループレク：ボーリング（2/12）
3	総合防災訓練（3/1） ひな祭り 自治会（中止） 利用者健康診断（3/18） 害虫駆除（3/15）	
<p>その他</p> <p>・新型コロナウイルス感染拡大防止により、自治会は開催を見送り、イベントについては規模縮小や開催方法を工夫し実施した。今年度は三浦旅行（入所利用者のみ）を開催し、グループレクも近場での実施とし、利用者余暇の充実を図れるように取り組んだ。</p>		

総務部門

生活支援部門（カビーナ・コペルタ貴志園）

カビーナ貴志園（施設入所支援・生活介護事業・短期入所事業）

コペルタ貴志園（就労継続B型事業・生活介護事業

・就労移行支援事業・就労定着支援事業）

生活支援部門（マーレ貴志園）

ホーム貴志園（地域生活援助事業）

相談センターゆいま-る（相談支援事業）

在宅支援部門（にじいろ貴志園）

にじいろ（放課後等デイサービス事業

